Vol. 79
令和6年(2024年)11月1日号

いまばり 市議会だより

Contents

代表質問	2	中学生議会	9
一般質問	3	特別委員会視察報告	10
一般質問・質疑	5	決算特別委員会の設置	11
委員会審査	5	議会日誌	12
議案の審議結果	7	人事案件	12

令和６年度 一般会計補正予算
5億6,084万8千円　原案可決

今治市議会 HP
はこちら

中学生議会開催

この市議会だよりは環境に配慮して VOC(揮発性有機化合物)成分フリーインキを使用しています。

9月定例会のあらまし

今定例会は、6日から27日までの22日間の会期で開催されました。

6日の本会議では、3つの特別委員会の委員長が行政視察の報告を行いました。次に、令和6年度の補正予算案1件、条例案6件、その他の議案が12件、報告案件が2件、合わせて21件が提案されました。

10日は、代表質問と提案された議案への質疑を行い、11日、12日の2日間は、7人の議員が市政への一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。また、12日には委員会審査のため、提案された議案を所管の委員会に付託しました。

27日の本会議では、審査を行った各委員会の委員長報告の後、議案について採決を行い、いずれも原案のとおり可決しました。次に、理事者から令和5年度一般会計特別会計歳入歳出決算の認定などの追加提案があり、決算特別委員会を設置し、決算認定議案8件を継続審査としました。続いて、理事者から人権擁護委員候補者の推薦についての追加提案があり、全会一致で同意しました。この後、建設水道委員会から防災・減災、国土強靭化対策のさらなる推進を求める意見書提出の発議を行い、原案のとおり可決して、今定例会を閉会しました。

今治市議会
（会議録の閲覧と検索）
閲覧期間
令和6年12月上旬以降

YouTube
（今治市議会）
閲覧期間
令和6年11月30日まで

9月定例会 代表質問

代表質問

創政会
（越智　忍）

次期市長選挙への意向について

Q **年明けに次期市長選挙を控える中、市内外を問わず多くの方々から徳永市長のリーダーシップの継続を望む声が多く聞かれます。私たちは、市長がこれまで示してこられたビジョンと、その実現に向けた取組は、今治市がこれからも成長し続けるために必要不可欠であると確信しているところであり、次なるステージに向かって市長とともに大きな挑戦をしていきたいと強く願っております。**

今後取り組まなければならない中心市街地をはじめとする、今治のまちづくりについて、そのかじ取り役としての徳永市長の意気込みを、ひいては、次期市長選に向けての市長のお考えをお聞かせください。

A まずは、私のこれまでの市政運営に対する大変温かい評価をいただきました。私が常に心掛けてきたのは「市民が真ん中」という基本理念を大切にし、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、共に歩み続けること、それを市政にしっかりと反映することであります。今、この時代を生きる私たちは、未来に対する責任を負っています。人口減少を少しでも抑え、次の世代に誇れる、魅力のある「今治の街」を創り上げていくことが私たちの使命だと思います。

来年2月の市長選挙までは、まだ、半年の任期が残されておりますので、課題に真剣に向き合い、市民の皆様にお約束をしたさまざまな施策を積極的かつ着実に推進することに「全力集中」してまいりたいと考えております。

ほかの質問

・3年半の任期を振り返って

音輪会
（矢野雄嗣）

市長マニフェストについて

Q **マニフェストの進捗状況についてお伺いしたい。**

A 200項目のマニフェストのうち、現時点で既に目的を達成したと評価できる項目が約3割・58項目、達成に向けて取組が順調に進捗している項目が約5割・103項目、まだ一部しか取り組めていない項目が約2割・36項目となっており、いまだ検討段階という項目は3項目という状況。

まず、1番目の柱「市民が真ん中の視点で市民の役に立つ市役所へ」の分野では、いつでもどこでも、スマートフォンやパソコンなどから、各種申請等手続きを、インターネットで完結する「今治てのひら市役所」を開設しており、今年度は、「移動市役所」の本格稼働も実施している。

次に、2番目の柱「市民の命を守り商いができる今治の実現」の分野では、昨年6月に設立した「株式会社今治あきない商社」は、瀬戸内クロスポイント構想推進の中核組織として大きな成果を上げている。また、令和4年12月に株式会社SUNABACOと企業立地連携協定を締結し、市内のDXを加速させている。

最後に、3番目の柱「ひとりひとりが輝く今治をみんなで創出」の分野では、今治版ネウボラの核となる拠点施設整備について、今年5月に基本計画を策定、さらに12月には、町谷地区に「遊び場サテライト」の象徴的な施設となる「今治こども公園　おひさまパーク」がオープンする予定である。

また、しまなみ海道通行料実質無料化に向けた取組の一環で「しまなみの子どもを育む交通費支援事業」の拡充や、県内初の「木のおもちゃ美術館」の誘致決定、全国トップレベルの不妊治療費の自己負担全額補助などの子育て支援施策を実施している。

ほかの質問

・今治市教育行政の拡充について

永井　隆文
（公明党）

軟骨伝導イヤホンについて

Q　耳の聞こえにくい高齢者の方などへの窓口対応の現状と、軟骨伝導イヤホンの導入について

A　市の窓口には多くの方がお越しになっているが、中には耳の聞こえにくい高齢者の方もおられる。現在、窓口では感染症対策として飛沫防止パーティションを設置したり職員がマスクを着用して対応させていただいており、特に耳の聞こえにくい方にとっては意思疎通が難しい環境になっている。このため職員が耳元に近づいてお伝えするほか、磁気ボードを使っての筆談、音声を増幅して聞くことができる集音器の使用、手話通訳者の対応など個人情報やプライバシーに配慮しながら、来庁者に対する丁寧な窓口対応を心がけている。ご提案の軟骨伝導イヤホンについては、全国的にも少しずつ導入する自治体が増えており導入後の評価も、「高齢者の方の利用が多く聞こえやすくて好評」とのことである。先日、本市の担当者が実際に体験した結果も「穴のないイヤホンは衛生的で、抵抗なく利用できる」「音も想像以上に明瞭」であったと報告があり、その有用性が確認されたところである。このため本市においても早速、軟骨伝導イヤホンを市民対応の多い、本庁の窓口や各支所に導入することで窓口での聞こえの不安を解消し、市民が真ん中の窓口対応を一層充実させたいと考えている。さらには、その効果を広くアピールすることで窓口対応の多い各種団体や企業等への導入が促進され、多くの市民の皆様が自分の思いを相手に的確に伝えられる多様なコミュニケーション手段の一つとして活用されることを期待している。

丹下　大輔
（権輿会）

今治市合併20周年記念事業について

Q　今治市は令和7年1月に合併20周年を迎える。「合併20周年記念事業」はこれまで多彩な事業が展開されているが、その進捗状況を問う。

A　「未来志向」で明日の今治を考えたいとの強い思いで「合併20周年記念事業」を立ち上げた。本年1月にオープニングイベントを実施して以降、8月末までに合計42の冠事業を実施し、既に延べ約30万人の方が参加。記念事業の柱である「今治みらい発掘プロジェクト12」は、各地域で22回の会議を重ね、次の20年を担う若い世代の発掘隊員154名を中心に、活発な意見交換や交流が進み、本市の未来像のイメージが次々に湧き上がっている。「みらい会議」では、次世代を担う若者たちの活発な意見交換の場へと発展し、20周年記念事業の本来の目的である「市民による市民のための主体的なまちづくり運動」が着実に動き始めている。さらに、旧市町村の枠組みを超えた数多くの地域間交流も活発に行われており、12の家族のベクトルが1つになり、未来に向けて走り出したことも実感している。

12地域が1つの大家族になって来年1月16日で丸20年。20周年記念事業が皆様の心にいつまでも残り続け、さらには、次の20年へ向かうための勇気となり、指針となるよう、「むすんだ絆・つながる未来」を合言葉に、皆様と一緒にしっかりと未来を見据え、全力で事業を展開してまいりたい。

ほかの質問

・今治市戦略的情報発信プロジェクトについて

山岡　健一
（権輿会）

eスポーツについて

Q　eスポーツは激しい動きをそれほど必要とせず、麻雀や将棋などのテーブルゲームやパズルゲームを一人でも楽しめたり、実際のスポーツの動きをコントローラーを使って再現し、体を動かすといったシニア世代にも受け入れやすく、視覚でとらえたものに対して体・指先を動かすことは脳のトレーニングにもなり、認知機能への効果も期待できると思います。これからもeスポーツを広めていくためには、世代間の交流を活発にし、誰でも楽しめる事が大切だと思いますが、今後の展望についてお答えください。

A　本市におきましても、既に、今治市総合福祉センター、大三島公民館、サン・アビリティーズ今治の3か所に、高齢者やハンデのある方々のための常設体験コーナーを設置するなど、これまであまりeスポーツに馴染みがなかった方々にも気軽に機器に触れていただける機会を増やす取り組みを進めております。今後は、認知症予防やフレイル予防にお役立ていただくためにも、もっと気軽に、見て、触って、知っていただく機会を増やすなど、シニア世代へのアプローチをしっかりと行うとともに、eスポーツイベントなどの開催に際しては、若者や女性層にも積極的にアプローチを行うことで、幅広い世代が参加し、楽しんでもらえる交流事業に仕立て上げたいと考えています。

谷口　芳史
（公明党）

今治市の子育て施策について

Q 今治版ネウボラの取組については成果も多く子育て支援の根幹としてしっかりと根付いており本年5月末に策定された今治版ネウボラ拠点施設整備基本計画も施設の建設、運営に向けての具体的な検討に移っていくようです。私ども公明党も子育て応援トータルプランのもと「次世代育成のための緊急事態宣言」を発令し2030年までの7年間を「次世代育成を最優先させる7年」と設定、財源を含めた全体像を政府に提案し子育て世代に対する国の支援の中心的な役割を果たしています。

本市も国に呼応して地域ならではの課題に対応する「今治版ネウボラ」の取り組みに期待していますがこれからどのような取り組みを進めていくのか今後の展開についてお聞かせください。

A これまで最優先の課題として進めてきた「今治版ネウボラの推進」を旗印に関連する子育て支援施策の充実を図ってきました。今治版ネウボラの拠点施設の整備につきましては令和12年度の供用開始を目指し構想、計画、そしていよいよ設計段階へと進んでまいります。整備以外にも今治版ネウボラを推進するための各種施策につきましても今できることはすべてやるとの覚悟で事業を展開しております。こどもたち一人ひとりが自分らしく輝く「令和の時代の新しい今治」を創るため、今後も全力で取り組んでまいります。

ほかの質問

・デジタルツールやコンテンツなどの利用への指導について

上村　悦男
（直心会）

いじめの状況について

Q 今治市の小中学校におけるいじめの実態はどのようになっているか。

A 本市では、平成25年に施行された「いじめ防止対策推進法」に従い、学校におけるいじめの積極的認知や解消に向けて取組を行っているところである。

近年のいじめの認知件数は、令和元年度は36件、令和2年度は55件、令和3年度は46件、令和4年度は66件、令和5年度は77件となっており、国や県と同様、増加傾向にある。

いじめの態様として、令和5年度においては、「冷やかしやからかい」が小学校では44％、中学校では67％と最も多くなっている。

Q 今治市はこれまでのいじめに対する取組をどのように総括し、今後どのように対応していこうと考えているのか。

A 本市においては、平成25年度より、いじめをなくすことをテーマとした「今治市小中学生会議」を開催するとともに、「今治市いじめ防止対策委員会」を年間3度開催している。さらに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員の派遣や、いじめ相談ホットラインの設置など、相談体制の整備に努めている。

教育委員会としては、今回改訂された『いじめ重大事態の調査に関するガイドライン』に示されている対応等について、校長会や教頭会等で指導を行っている。

これからも各学校と連携を密にしつつ、いじめの発生等について、きめ細かな状況把握を行い、適切な対応に努めていく。

ほかの質問

・日本語指導・支援が必要な外国人等への対応について

松田　澄子
（日本共産党）

マイナ保険証について

Q 12月2日からマイナンバーカードに健康保険証機能を一体化させたマイナ保険証は任意としている。使用可能なマイナ保険証を持たない方には「資格確認証」を交付するとある。「資格確認証」も使えることをどのように周知するのか。

A 現在の保険証の発行は12月2日で終了するが、資格確認書が無償で交付され医療機関に提示すれば、引き続き一定の窓口負担で医療を受けられる。ホームページ、広報、ＳＮＳで周知する。

有機農業の拡大について

Q 今治市有機農業サポート事業について、年齢要件をなくして進めているが、この制度を活用しての取組の途中経過を伺う。

A 本市の有機農業は40年以上の歴史があり、近年は島嶼部に移住者が増え有機農業で新規就農を目指す方も増加している。令和5年度1名、令和6年度1名が当該制度を活用している。

Q 耕作放棄地への取組について伺う。

A 愛媛県、ＪＡ、市、農業委員会のサポートチームで耕作放棄地の情報提供なども含め、営農に関する相談、助言などきめ細かな支援を行い、新規就農しやすい環境整備に努めている。

ほかの質問

・護衛艦「いずも」の寄港の経緯について

内山　葉子
（政常会）

新型コロナワクチンの秋からの定期接種について

Q 自己増殖型mRNA（レプリコンワクチン）について

新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査（2024年8月30日時点）では、進達受理件数のうち認定数（累積）7千994件、死亡一時金または葬祭料に係る件数を含む認定数（累積）777件となっている。これでも厚生労働省は、重大な懸念はないとして、今秋65歳以上の方への定期接種やそれ以外の方への任意接種として新型コロナワクチン接種を継続する。現在承認申請中の自己増殖型mRNAワクチン（レプリコンワクチン＝コスタイベ筋注）は、自己増殖機能を持ったワクチンであり接種したmRNAが増殖し続け接種者の体内で変異すること、接種者から他者へ伝播すること、そしてワクチンのmRNAがウイルス化すること等が懸念されている。これは、既存のmRNAワクチン以上の被害を生み出すことになり得るものであり、また接種を望まない人への倫理的問題もはらんでいる。さらに接種を請け負う医療機関をも危険にさらすことになると思う。ワクチン接種は医療行為であり、インフォームド・コンセントは必須である。しかしながら、これまでの新型コロナワクチン接種において十分な説明がなされていたとは言い難い状況である。本市はこのレプリコンワクチン（コスタイベ筋注）秋接種に対し、どのような対応をするのか。

A レプリコンワクチンについては、現在、変異株対応ワクチンへの承認申請中であり、承認後は、厚生科学審議会において、定期接種での使用について審議がなされる予定であり、国の動向を注視してまいる。

ほかの質問

- 南海トラフ地震の備えについて
- マイナ保険証及び資格確認書について

質疑

9月10日の本会議において、理事者から提案された議案に対する質疑が次の事項について行われました。

上村　悦男
（直心会）

発言者

予算（第4号）について

1 歳出2款1項1目デジタル未来推進費について

(1) 生成AI導入による業務効率化事業について

○議案第68号「今治市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について」

1 今治市災害弔慰金等支給委員会を設置する理由について

2 審査委員会規則の内容について

○議案第64号「令和6年度今治市一般会計補正

市議会ホームページへアクセスしてみませんか

市議会の活動をより詳細にお伝えするため、ホームページを開設しています。ぜひアクセスください。

HPアドレス
https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/

委員会審査

総務委員会

今治市立学校運動場夜間照明施設条例の一部を改正する条例制定について

伯方中学校運動場夜間照明施設を追加しようとするもの。

財産の取得について（小型動力ポンプ）

大西方面隊及び菊間方面隊に配備の小型動力ポンプを更新しようとするもの。

財産の取得について（防火服）

消防吏員に貸与する防火服を更新しようとするもの。

愛媛地方税滞納整理機構の共同処理する事務の変更及び規約の変更について

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律（平成31年法律第3号）の施行に伴い、愛媛地方税滞納整理機構の共同処理する事務を変更し、同機構規約の一部を変更しようとするもの。

教育厚生委員会

今治市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について

被保険者証の廃止に伴い、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に定める事務の利用範囲を追加しようとするもの。

今治市立図書館条例の一部を改正する条例制定について

中央図書館に設置する駐車場の使用料を改定し、その他所要の改正をしようとするもの。

今治市災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

今治市災害弔慰金等支給審査委員会を設置しようとするもの。

今治市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

国民健康保険法の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

財産の取得について（教育系情報基盤システム用機器）

令和元年度に導入した教育系情報基盤システムの更新のため教育系情報基盤システム用機器一式を購入しようとするもの。

愛媛県後期高齢者医療連合規約の変更について

高齢者の医療の確保に関する法律の改正により、被保険者証が廃止されることに伴い、規約の一部を変更しようとするもの。

建設水道委員会

今治市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

水道法第10条の国土交通大臣の認可等に伴い、所要の改正をしようとするもの。

予算特別委員会

通学費助成事業

市内在住の中学生及び高校生が、公共交通機関を利用して市内の学校に通学する場合に、定期代の一部を支援することで子育て世帯の経済的負担の軽減を図ろうとするもの。

（1）中学・高校への通学費支援

1000万円

市内の中学、高校に通学する生徒の保護者を対象者とするもの。

（2）島しょ部高校魅力創造（上乗せ支援）

（ア）陸地部から島しょ部高校への通学費支援

130万円

島しょ部の高校に通学する陸地部在住の生徒の保護者を対象者とするもの。

（イ）島しょ部間及び島内の通学費完全無料化

80万円

島しょ部の高校に通学する島しょ部在住の生徒の保護者を対象者とするもの。

代替保育利用支援事業

60万円

保育所への入所を希望する保護者が、子どもが入所できる保育所がなく、やむを得ず代替保育（一時預かり、認可外保育施設、ファミリー・サポート・センター等）を利用する場合に、その代替保育の利用料の一部を支援しようとするもの。

生成AI導入による業務効率化事業

220万円

生成AI活用の動きが広がりを見せる中、業務の効率化や質の向上、市民サービス向上等を図るための効果的な活用方法や想定されるリスク（情報漏洩、著作権侵害）についての検証等を行うことを目的に、生成AIを導入しようとするもの。

野菜・花き等産地供給力強化支援事業費補助金

582万9000円

県の野菜・花き振興計画において重点振興品目に位置付けられる「さといも」の本市における生産基盤強化を図ることを目的として、省力化機械の導入を支援しようとするもの。

儲かるモデル産地育成システム確立実証事業費補助金

15万5000円

先進技術の導入効果を実証し、産地に広く普及する取組を支援することで、市内農業者の技術を高位平準化し、儲かるモデル産地の確立を図ろうとするもの。

大西小学校校舎改修工事

7520万円

校舎の老朽化に伴う長寿命化等の大規模改修を行うもの。

傾斜園地作業効率化モデル整備事業費補助金

2417000円

将来を見据えた市内柑橘産地の生産力強化を図るため、大三島で栽培が盛んなレモンの園地において、機械化が可能となる緩傾斜化による生産性の高いモデル園地に向けた取組を支援しようとするもの。

有機野菜等面積拡大支援事業費補助金

1028000円

令和5年度末のオーガニックビレッジ宣言を踏まえ、有機農業の取組面積の拡大等を図ることを目的として、省力化や面積拡大に資する農業機械の導入を支援しようとするもの。

災害支援代理寄附

624万2000円

能登半島地震により被災した珠洲市及び輪島市に対して、災害支援代理寄附（ふるさと納税）により受付した額を交付しようとするもの。

火災情報配信事業

60万円

市民等に対し、速やか

介護基盤整備事業費補助金

3242万円

社会福祉法人聖マリア会（特別養護老人ホームみどりの郷）及び社会福祉法人寿山会（特別養護老人ホーム寿山苑）の間仕切り設置を支援するもの。

認知症高齢者グループホーム等防災改修等事業費補助金

8057000円

社会福祉法人寿山会（ケアハウス寿山荘）の屋上防水改修工事を支援するもの。

な火災情報の提供を行うことを目的として、事前に登録したメールアドレスへ火災発生箇所に係る地図情報等を自動配信する災害情報伝達手段を新たに整備しようとするもの。

水防活動費　**1億1800万円**

令和6年4月17日に発生した豊後水道を震源とする地震並びに5月27～28日、6月17～18日、22～23日及び7月11～12日の大雨に係る水防活動費。

災害復旧事業　**1億2400万円**

5月27～28日、6月17～18日、27～28日及び7月11～12日の大雨に係る災害復旧事業費。

市民参加型道路緊急点検対応事業　**500万円**

7月7日開催の「いまばりクリーン大作戦」に合わせて実施した市民参加型道路等点検により判明した修繕等が必要な箇所について緊急対応しようとするもの。

道路治水施設等災害対策事業　**1億円**

近年の大雨災害による被害を未然に防ぐため、頻繁に被害が発生している各所に冠水対策工事等を実施し、住宅地等の浸水被害軽減を図ろうとするもの。

公共道路改良事業　**6700万円**

県の広域防災拠点であるしまなみアースランドや県立今治病院移転先予定地に隣接し、緊急輸送道路に位置付けられる市道高地延喜線について、早期の供用開始を図ろうとするもの。

令和６年９月定例会　議案の審議結果

番　号	件　　名	結　果
		９月27日議決
議案 64	令和６年度　今治市一般会計補正予算（第４号）	原案可決（全会一致）
議案 65	今治市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 66	今治市立図書館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 67	今治市立学校運動場夜間照明施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 68	今治市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 69	今治市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 70	今治市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 71	財産の取得について（小型動力ポンプ）	原案可決（全会一致）
議案 72	財産の取得について（防火服）	原案可決（全会一致）
議案 73	財産の取得について（教育系情報基盤システム用機器）	原案可決（全会一致）
議案 74	愛媛地方税滞納整理機構の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決（全会一致）
議案 75	愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決（全会一致）
報告 8	専決処分について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について ・損害賠償額の決定及び和解について	受　理
報告 9	公営企業資金不足比率について	受　理
発議 2	特別委員会の設置について	原案可決（全会一致）
	決算特別委員会委員の選任	選　任
議案 76	令和５年度　今治市水道事業決算の認定について	継続審査

番　号	件　　名	結　果
議案 77	令和５年度　今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
議案 78	令和５年度　今治市簡易水道事業決算の認定について	継続審査
議案 79	令和５年度　今治市工業用水道事業決算の認定について	継続審査
議案 80	令和５年度　今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
議案 81	令和５年度　今治市下水道事業決算の認定について	継続審査
議案 82	令和５年度　今治市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
議案 83	令和５年度　今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
報告 10	健全化判断比率等について	受　理
議案 84	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意（全会一致）
発議 3	防災・減災、国土強靱化対策のさらなる推進を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）
	議員の派遣について	原案可決（全会一致）

令和６年９月定例会　請願・陳情の審議結果

【前議会より継続して審議されているもの】

番　号	件　　名	結　果
陳情第15号（R6.6.4受理）	加齢性難聴者への支援に関する陳情について	継続審査
陳情第16号（R6.6.4受理）	加齢性難聴者への補助器具購入に対する公的補助制度創設を求める陳情について	継続審査

【今回審議されたもの】

番　号	件　　名	結　果
請願第14号（R6.9.6受理）	女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約選択議定書の早期批准を求める意見書提出に関する請願	継続審査
陳情第17号（R6.9.6受理）	不登校児童生徒に対して多様な学習機会を確保するための経済的支援に関する陳情について	採　択（全会一致）
陳情第18号（R6.9.6受理）	新型コロナワクチンの任意接種への変更と正確な情報や懸念について国民に十分な周知を行うことを求める意見書提出に関する陳情について	不採択（賛成少数）
陳情第19号（R6.9.6受理）	自己増殖型 mRNA ワクチン（レプリコンワクチン）の国民への接種中止を求める意見書提出に関する陳情について	不採択（賛成少数）
陳情第20号（R6.9.6受理）	マイナンバー制度見直しを求める意見書提出に関する陳情について	不採択（賛成少数）

議案等に対する賛否状況　令和６年第４回定例会（令和６年９月27日議決分）

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名／番号	1 内山葉子	2 上村悦男	3 丹下大輔	4 黒川美樹	5 壷内和彦	6 森本真博	7 永井隆文	8 松田澄子	9 達川雄一郎	10 羽藤謙司	11 山岡健一	12 野間有造	13 藤原秀博	14 越智忍	15 木村文広	16 渡部豊	17 谷口芳史	18 近藤博	20 矢野雄嗣	21 森京典	22 越智豊	23 中村卓三	26 平田秀夫	27 加藤明	28 寺井政博	29 松田敏彦	30 堀田順人
陳情 18	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情 19	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情 20	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※　○：賛成　×：反対
※　藤原秀博議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

中学生議会を開催しました

令和６年８月５日、今治市議会は「今治市中学生議会」を開催しました。これは、市の将来を担う中学生に市議会の仕組みや働きを体験してもらい、地方自治の役割や重要性を理解してもらうことを目的としています。また、この取り組みを通じて、若い世代の政治参加への意識を高めるとともに、中学生の視点からの意見を今後の市政運営に活かすことも目指しています。今年は８校から24名の中学生議員が参加し、議長や質問者として、中学生らしい元気いっぱいの姿で理事者に対して質問しました。中学生議会の会議記録は、今治市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

特 別 委 員 会 視 察 報 告

７月８日から12日にかけて特別委員会では行政視察を実施しました。その内容を皆様にご報告いたします。

■地域振興特別委員会（７／８から７／10）

宮城県仙台市

仙台市では、自動運転のＥＶバスを運行するサービスの実証・実装を目指す「青葉山グリーン回遊プロジェクト」に取り組んでいます。まちの回遊性向上、まちの脱炭素化といった仙台市が抱える課題を先端的サービスにより解決するため、実証・実装に向けた事前調査が行われました。自動運転に必要な周辺環境のデータ収集・分析等により技術的課題を把握するほか、利用客の需要・ニーズの調査等が行われ、事業の成果、自動運転車両の特性、今後の実用化に向けての課題等を学ぶことができました。

宮城県塩竈市での視察の様子（７／９）

宮城県塩竈（しおがま）市

塩竈市では、人口減少に歯止めをかけるため、若い世代の定住と地域活力の維持を目的に「塩竈市子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業」を創設しています。この事業は、市内へ転入する子育て世帯や三世代同居･近居世帯への住宅取得に対して、最大65万円を補助するものです。また、新婚の二人の門出を祝福するとともに、新たな夫婦生活の経済支援を目的として、結婚祝金の支給を開始しています。該当者を対象に毎月、贈呈式を開催し、参加された方には市長から直接、新婚夫婦へ結婚祝金を贈呈しています。贈呈式の様子は広報誌にて紹介されたり、市職員が祝福の列をつくり、玄関までお見送りをしています。

■スポーツ振興特別委員会（７／９から７／11）

石川県金沢市

ｅスポーツ金沢モデルの取組について、金沢市が運営するｅスポーツの拠点施設「ＩＴビジネスプラザ武蔵」にて、説明を受けました。令和元年にｅスポーツ工房を開設し、市主催のｅスポーツ大会、セミナー、トークセッション、国体予選会などを実施するなど、ｅスポーツを活用したスポーツ振興活動を行っているとのことでした。また、ｅスポーツの理解促進のため、要望に応じて出張講座としてプロのプレーヤーの派遣や機材の貸出しなども行い、体験する機会の提供に努めているとのことでありました。

福井県福井市での視察の様子（７／10）

福井県福井市

今治市において、今年度スポーツ振興計画を策定予定ということもあり、福井市において、既に策定されている第２期福井市スポーツ推進計画について、説明を受けました。計画策定に当たり、国のスポーツ基本計画を参酌し、福井市の最上位計画である第八次福井市総合計画や関連の福祉、教育振興基本計画などとの整合性を図りながら進めたとのことでありました。また、県内唯一の都市型フルマラソン大会とされる「ふくい桜マラソン」を重点施策として、今後全国への魅力発信・PR を行い、新規参加者の発掘やリピーター確保を目指し、継続的な交流人口の拡大と地域経済の活性化の導火線としたいとのことでありました。

■広報広聴特別委員会（7／10から7／12）

東京都江戸川区

江戸川区では、「江戸川区 SDGs 中学生議会」について、ご説明をいただきました。

江戸川区では、令和３年から、江戸川区議会議員が主体となり、江戸川区 SDGs 中学生議会を開催しています。市内の中学校33校の代表者が「議員」となり、中学生自身が市政について考え、意見や提案を行うことによって、「ともに生きるまち」を目指すとともに、市政・議会に関心を持つことや、主権者教育の推進を目的としており、江戸川区の担当者からは、中学生議会は参加者にとっては大変貴重な経験であり、区にとっても、中学生議員にとっても、事業の効果がさらにあがるように今後も取り組んでいきたいとお話しがありました。

福島県福島市での視察の様子（7／11）

説明の後、議場を見学させていただきました。議場内も中学生議員が車椅子でも参加できるように工夫がされておりました。

福島県福島市

福島市では「市議会だより」について、御説明をいただきました。

令和元年５月にリニューアルをおこない、二次元バーコードの活用、ユニバーサルデザインフォントの使用等、市民にとって親しみやすく、読みやすい掲載に努めておりました。

また、点字版市議会だより・音声版市議会だよりを発行し、視覚等に障害がある方への周知にも努めておりました。

決算特別委員会の設置

９月定例会に提出された令和５年度の水道事業、簡易水道事業、工業用水道事業、下水道事業及び一般会計・特別各会計の決算に関する議案を審査するため、９月27日の本会議において決算特別委員会が設置され、13人の委員が選任されました。

委員長	森　京典
副委員長	越智　忍
委員	黒川美樹
委員	壷内和彦
委員	森本真博
委員	羽藤謙司
委員	野間有造
委員	谷口芳史
委員	近藤　博
委員	矢野雄嗣
委員	越智　豊
委員	中村卓三
委員	堀田順人

本会議のインターネット中継について

ここをクリック

今治市議会では、開かれた議会を目指して、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォンなどにより、ライブ中継、録画放送をご覧いただけます。なお、録画放送はライブ中継配信の日付の翌々月末に削除されますので、ご注意ください。

同時に多くの方がインターネット中継を視聴された場合、映像がうまく映らないことがあります。また、本会議の様子は、インターネット配信のほか、今治ＣＡＴＶ㈱のコミュニティチャンネル（11ＣＨ）でもライブ中継されています。

本会議のインターネット中継の視聴方法

今治市議会ホームページの**「市議会インターネット中継」**をクリックする。

議会日誌

令和6年6月

2日　藤原議長曽我部京太郎選手パリオリンピック壮行会出席のため松山市へ出張
〃　会派代表者会議
24日　広報広聴特別委員会
25日　丹下、山岡、野間、森、寺井議員旅先納税について北海道厚沢部町へ、デジタル化推進事業について北海道室蘭市へ、地域商社「株式会社キットブルー」について北海道神恵内村へ調査のため28日まで出張
28日　広島県尾道市議会議長、副議長就任挨拶のため来局
16日　徳島県吉野川市議会議員視察

7月

4日　地域振興特別委員会行政視察のため宮城県仙台市、塩竈市へ10日まで出張
8日　兵庫県伊丹市議会議員視察
〃　スポーツ振興特別委員会行政視察のため石川県金沢市、福井県福井市へ11日まで出張
10日　広報広聴特別委員会行政視察のため東京都江戸川区、福島県福島市へ12日まで出張
11日　福島県郡山市議会議員視察11日まで岐阜県各務原市議会議員視察
12日　藤原議長全国市議会議長会第180回社会文教委員会出席のため東京都へ出張
16日　藤原議長今治小松自動車道建設促進に関する要望活動のため松山市へ出張
〃　長崎県大村市議会議員視察
17日　宮崎県延岡市議会議員視察
18日　兵庫県南あわじ市議会議員視察
19日　教育厚生委員会滋賀県米原市議会議員視察
22日　松山市議会議長、副議長就任挨拶のため来局
23日　青森県十和田市議会議員視察
24日　東予地区市議会議長会定期総会
藤原議長うわじま牛鬼まつり出席のため宇和島市へ25日まで出張
25日　埼玉県本庄市議会議員視察
26日　議会運営委員会埼玉県三郷市議会議員視察
〃　建設水道委員会
29日　広島県尾道市議会議員視察
30日　総務委員会福岡県柳川市議会議員視察
31日　兵庫県姫路市議会議員視察

8月

1日　藤原議長弘前ねぷたまつり出席のため青森県弘前市へ2日まで出張
5日　今治市中学生議会
7日　東京都世田谷区議会議員視察
8日　藤原議長、達川副議長、内山、上村、丹下、黒川、森本、永井、松田（澄）、羽藤、山岡、野間、越智（忍）、木村、渡部、谷口、近藤、矢野、森、平田、加藤、寺井、松田（敏）議員愛媛県市議会議員研修会出席のため松山市へ出張
〃　広島県尾道市議会議員視察
15日　藤原議長愛媛県戦没者追悼式出席のため松山市へ出張
19日　藤原議長東予地区市議会議長会先進都市等行政視察のため北海道千歳市、恵庭市へ21日まで出張
26日　内山、上村、羽藤、越智（豊）、堀田議員移住・定住施策について北海道美瑛町へ、デザイン推進事業、移住促進事業について北海道旭川市へ調査のため28日まで出張
27日　藤原議長SG第70回ボートレースメモリアル出席のため香川県丸亀市へ出張

市議会に対するご意見・ご要望をE-mailまたはＦＡＸでお寄せください。
お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。
E-mail：gikai@imabari-city.jp

人事案件（敬称略）

9月27日の定例会において、次の方を推薦することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

・馬越　晴通（再任）
・久松　宝詮（再任）
・加藤　経子（再任）
・檜垣　良子（再任）
・飯野　幸子（新任）

広報広聴特別委員会

委員長	木村　文広
副委員長	内山　葉子
委員	黒川　美樹
委員	永井　隆文
委員	野間　有造
委員	中村　卓三
委員	平田　秀夫
委員	松田　敏彦

発行■今治市議会議長　今治市別宮町一丁目4－1　TEL 0898-36-1580　FAX 0898-36-1582
編集■広報広聴特別委員会
ホームページ■https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/
「今治市議会」ホームページ